🚽 | 活動地域 | 国内

# 既存の教育・研修に ESDを導入するための人材育成事業

〒112-0002 東京都文京区小石川2-17-41-3F 電話:03-5844-3630 E-mail:main@dear.or.jp http://www.dear.or.jp/



ひろげる助成 5年目 知識の提供・普及啓発



学びあいフォーラム研修会の実施 4回 コーディネーター会議の実施 10回 90% 今年度計画の達成度 活動の全体目標に対する達成度 90%

苦労した点と工夫した点

# ■苦労した点

より質の高い研修の実 施のため、コーディネー ターが各地域に直接赴き、 ター間で会議を重ねプロ 団体の状況に応じた働き グラムを柔軟にしたが、そかけを行った。事業実施過 の実施プロセスや進行管 程での気づきをプログラ 理をコーディネーター間 ムに反映させ、より上位目 で行うのに苦労した。

### ■工夫した点

本事業のコーディネー 標に近づくようにした。

### 課題

パートナー団体によるふりかえりの様子

既存の教育・研修にESDを取り入れることがその普及・推進や SDGsの達成に不可欠であると考え、現場の多様性に即したESDを 構築するための力量形成をめざす必要がある。

「持続可能な社会・地域づくり」を後押しする教育・学習活動によ り、自らの地域への態度や関わり方、考え方や視点が変化すること で起こる関係性等の変化を把握すること。

# 活動内容と成果

「持続可能な社会・地域づくりのための学びあいフォーラム(「学 びあいフォーラム」)」として、ESDを既存の教育・研修に取り入 れるための研修会を全4回実施した。そのうち、1回は各地域での ESD学習プログラムを計画実施した。最終回では、実践の成果と 課題、それらを生んだ要因を分析・確認し可視化し、パートナー団 体が地域にどのように関わるかを考えるプロセスを共有すること で、団体や地域内だけでは起こすことが困難な、関係性の変化を 把握することができた。



## 全助成期間の活動を振り返って

1年目は研修プログラム開発を行い、2年目から3年目にかけて「学 びあいフォーラム」として研修を実践する中でプログラム改善を重 ねた。各パートナー団体が研修プログラムを作成する過程において、 学習成果やそれに伴う地域の変化を可視化することができた。ま た、地域の変化が参加団体の地域に対する見方や態度、団体内外の 関係性の変化として見え、そこに各団体が担う学習のコーディネー ト機能が見て取れた。



今後の

プログラムを実践する中で、アウトプットを柔軟に 対応して実践してきたことが成果の達成につながっ たと考えている。今後は、これまでの実践での課題を

踏まえ、プログラムの改善を重ねていくことで、上位目標であ る、既存の教育・研修が「持続可能な社会・地域づくり」を後押し する教育・学習(ESD)として意識的に取り組まれ、そうしたESD を担うための人材育成研修が各地域で実施されていることを見 据えて事業を行っていく。